

● 交通安全意識の高揚と交通環境の整備による交通事故防止対策の推進

施策目標（PLAN）

交通事故の総量抑止

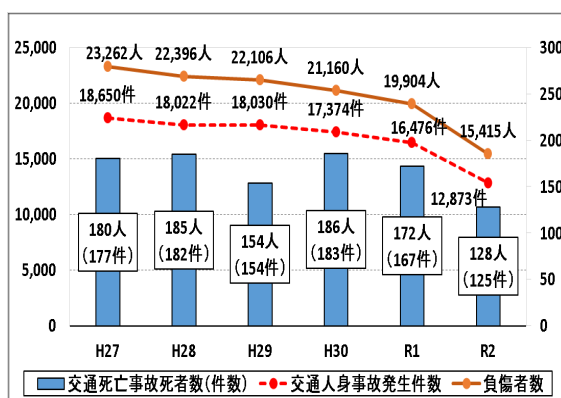
実施項目（DO）

- 1 交通事故分析結果に基づく効果的な交通事故防止対策の推進
 - 歩行者が安心して横断歩道を渡れる社会を目指す歩行者保護「ゼブラ・ストップ」の推進
 - 高齢運転者に対する身体機能等の低下を踏まえた安全運転の指導・啓発及び高齢者に対する歩行中の安全行動を実践させるための指導・啓発など高齢者安全対策の推進
 - 飲酒運転等の危険な運転の根絶に向けた指導取締り及び啓発活動の推進
- 2 交通安全施設の設備と交通実態に即した交通規制の推進
 - 通学路や未就学児が日常的に集団で移動する経路等における信号機の歩車分離化への改良、生活道路におけるゾーン30の整備

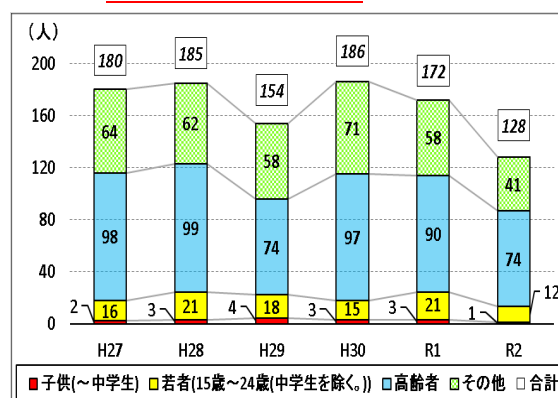
実績（成果）（CHECK）

1 交通事故発生状況

※ 前年と比べて発生件数及び死傷者数は減少（脱ワーストの達成）



【交通人身事故発生状況の推移】



【年齢別死者数の推移】

- 交通事故死者数は、昭和30年以来65年ぶりに150人を下回った。

- 2 歩車分離式信号の整備（年度単位の集計のため参考値）
令和2年中に7か所に整備
- 3 ゾーン30整備実施（年度単位の集計のため参考値）
令和2年中に2市2か所に整備

今後の課題及び方針（ACTION）

1 課題

- 飲酒運転等危険な運転の根絶
- 高齢者安全対策の強化
- 歩行者保護「ゼブラ・ストップ」の更なる推進

2 方針（継続実施）

- 交通事故分析結果に基づく効果的な交通事故防止対策の推進
- 持続可能性を踏まえた交通安全施設の整備と交通実態に即した交通規制の推進